

2025年度 第101回天皇杯・第92回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会
セカンドラウンド（近畿ブロック）
個人トータル

男 子 決勝								2025年11月23日16時00分 開始 大山崎町体育館							
東山高等学校 68								73 ONELYS wakayama							
17 1 Q 29 22 2 Q 13 17 3 Q 17 12 4 Q 14 O T															
番号	氏 名	得点	3 P	2 P	F T	反則		番号	氏 名	得点	3 P	2 P	F T	反則	
4	藪 元太郎	2	0	1	0	2		2	大戸 一輝	6	0	3	0	0	
5	佐藤 凪	18	1	7	1	3		4	森田 拓磨	3	0	1	1	2	
6	カンダ マビカ サロモン	9	0	3	3	4		7	中川 泰志	2	0	1	0	1	
7	香月 遥斗							8	末廣 力久	15	2	2	5	4	
8	中村 颯斗	13	1	4	2	1		13	福井 穂	0	0	0	0	0	
9	ウェトゥ ブワシャ エノック	15	0	5	5	3		14	マドゥアバム チュクウディエベレ	12	0	4	4	2	
10	鈴木 勇功	0	0	0	0	3		15	山本 浩太	7	1	1	2	3	
11	湯川 真央							21	松田 優大	9	0	4	1	3	
12	川口 律	0	0	0	0	0		30	Duff John	13	2	2	3	2	
13	佐藤 蒼憊							34	山本 仁也	2	0	1	0	0	
14	佐藤 久遠	11	0	4	3	4		36	木下 岳人	4	0	2	0	3	
15	千葉 颯太														
16	横尾 理	0	0	0	0	0									
17	上羽 俊太郎														
18	劉 俊杰														
コーチ	大澤 徹也							コーチ	上田 頼飛						
Aコーチ	山崎 健太郎							Aコーチ	佐藤 浩貴						
合 計		68	2	24	14	20		合 計		73	5	21	16	20	
クルーチーフ 伊藤 亮介								アンパイア 1st 北村 仁 2nd 深野木 慧							

〔戦 評〕

社会人対高校生の対戦。
決勝戦を争うに相応しい1点・1ポゼッションを争う好ゲームとなり、ONELYSwaakayamaが近畿代表権を掴んだ。

- 1 Q 東山高校とONELYSwakayamaの決勝戦
東山はNo5, 8, 9, 10, 14 ONELYSはNo4, 8, 15, 30, 35がスターティングメンバー
ONELYSはNo30の3P, ドライブ、No8の速攻で3連続得点し良いスタートを切る。
東山高校は2m選手を2枚配置するONELYSの高さに苦しめられアウトサイドシュートが決まらず苦しい展開となるが、No9のリバウンドシュートやNo6のカウントシュートなどで追い上げを図る。
ハイペースでゲームは進み、29-17で1クォーター終了。
- 2 Q 2クォーターに入り、先にペースを握ったのは東山。
No14の1on1, No5の3P, No4のゴール下で3連続得点し点差を詰める。
東山はディフェンスをゾーンにチェンジし、状況を変えようとするが、一進一退の攻防が続く。
ONELYSもNo8の3PやNo4の速攻などで10点差まで広げる。
東山はタイムアウト後の終盤にNo5やNo14の1：1により点差を縮める。
- 3 Q 3クォーターに入り、東山のトランジションの速さが効果を発揮し始め、残り5分には同点とし、No6の1：1により、遂に逆転に成功する。
ONELYSはセットプレイを駆使し、No2の1：1やNo14のダンクなどで再逆転。
- 4 Q 4クォーターに入り、東山No9のリバウンドシュートで1点差に詰め寄るが、ONELYSはNo7のリバウンドシュートやNo21の1：1で引き離しにかかる。
その後東山はNo9のフリースローにより繋げるが逆転には至らない。
ONELYSは終盤のファウルゲームでのフリースローを着実に決め、近畿代表権を勝ち取った。

所 属 （一社）京都府バスケットボール協会
戦評者 庄田 雅一